

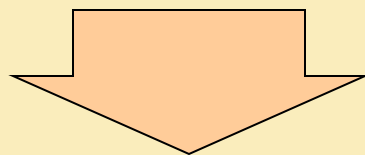
# 東海大地震に備えて 旧蒲原宿の文化財建造物を地域で守る事業



特定非営利活動法人  
旧五十嵐邸を考える会

## (2) 事業の目的

- 東海道の宿場町である旧蒲原宿地区
  - ・ 国登録有形文化財5棟をはじめ文化財建造物が良く残り
  - ・ 歴史的な町並みを形成している
- 駿河湾に面し、東海大地震や津波の襲来が予想されている。



文化財建造物の被災の状況や海洋型地震の規模等の見直しなどを踏まえ、文化財建造物と地域を守る活動に取り組む。

### (3) 事業活動の内容

## 1. 災害発生時に文化財建造物を守る 防災活動方策の検討

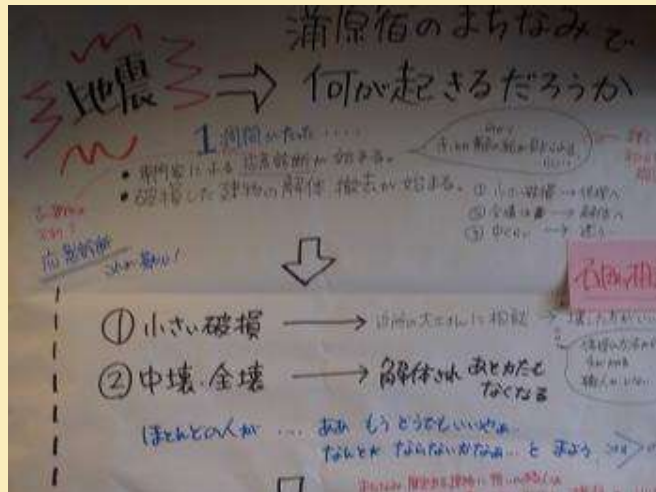
- ①旧五十嵐歯科医院の被災時の行動計画の検討
- ②防災拠点として旧五十嵐歯科医院を機能させる活用や整備方策の検討
- ③歴史的町並みの特性を活かした災害時対応シミュレーションの検討



### (3) 事業活動の内容

## 2. 地震や津波時の破損による文化財建造物の解体進行を防ぐ方策検討

- ①建築士等による被災後の行動マニュアルの検討
- ②旧五十嵐邸を考える会等による被災前、被災後の行動計画の検討





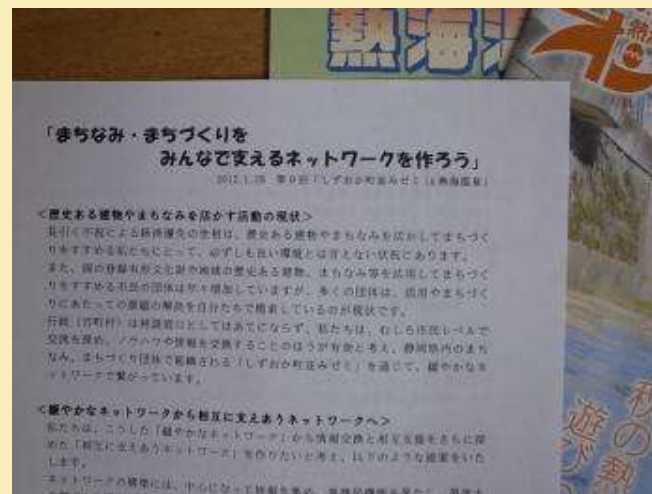
### (3) 事業活動の内容

## 3. 津波被害等を受けた場合の文化財建造物や 歴史的町並みの事前復興計画の検討



### (3) 事業活動の内容

## 4. しずおか町並みゼミ等を活用した データベースと ネットワークの構築



## (4) 事業の成果

### 【一定の成果が得られたこと】

- 旧五十嵐邸を地域防災の核とする取組みが進んだ
  - ① 旧五十嵐邸で災害が起きた時の行動計画をたてた
  - ② 旧五十嵐邸を災害から守る設備の検証を行った
  - ③ 周辺地区の防災にも寄与できる取組み内容を整理



## (4) 事業の成果

### 【今後の取り組み課題がわかったこと 1】

- 歴史的町並みの「事前復興」に向けた課題の把握
  - ① 建築士と協力して検討する事柄を把握した
    - ・ 被害判定、応急修理の相談窓口づくり、職人などの斡旋 など
  - ② 災害時に向けて会員が日頃から準備する事柄の把握
    - ・ 所有者に日頃から建物の価値や感謝の気持ちを伝える など

### 【今後の取り組み課題がわかったこと 2】

- 蒲原宿の歴史文化を活かした地域防災の取組みに着手
  - ① 身の回りにある歴史文化を活かした防災資源マップの作成
  - ② 地域の防災訓練に参加し、より効果を高める方法を考えた



## (4) 事業の成果

### 【全体を通じた成果】

- 思いを同じくする仲間のネットワークができた
  - ① 会員をはじめ参加者の意識の向上
  - ② 消防団、建築士会、しずおか町並みゼミなど防災を巡るネットワークができた



## (5) 事業実施後の課題

- 防災の問題は幅が広く、一年でできることには限界があった
- 改めて、消防団や自治会、自治体との連携体制の必要性を感じた

## (6) 今後の展開

- 旧五十嵐邸の消防計画の見直しと静岡市への提案
- 旧五十嵐邸を活かした効果的な防災訓練の企画、実施
- 蒲原宿の歴史文化を活かした地域防災を考える体制づくり
  - ① 蒲原宿の消防団、自治会、市などとの体制づくり
  - ② 災害時支援を目的とした県内団体の体制づくり
- 静岡県建築士会と連携した「事前復興計画」づくり
  - ① 災害直後の建築士による歴史的建造物の被害度判定
  - ② 会が仲介して歴史的建造物の所有者の応急修理相談、職人斡旋
  - ③ そのための日頃からの所有者との関係づくり
- 静岡市への働きかけ、地域防災計画などへの反映